

巻 頭 言

弘前医療福祉大学

学長 下 田 肇

第4巻第1号の紀要が発刊され、ますますその内容が充実してきたことに先生方の日頃の研究、研鑽の努力に改めて敬意を表したいと思います。

さて2022年は新型コロナウイルスの感染が収束しない中、ロシアがウクライナへの理不尽な侵略を始め戦争は長期化し、いまだ和平への兆しは見えません。このような厳しい状況の中で私たちはそれぞれが職務を果たしながら粘り強い心で短絡的な感情を抑えて物事に取り組むことが大切だと考えます。

ここで近年の大学改革を考えますと何事も中央政府の主導で進行しており、「大学の自発性－自由」が国家に吸い取られているかのように思えるのは私だけでしょうか？大学は社会とともにあることはもちろんですが、中央政府の役割の拡大を無制限に当然と考えることはなく、空疎な言葉や決まりきったフレーズに惑わされず、本大学は自発的な活動を通じて固有の事情を持つこの地域社会と市民と連携することが何より求められると思います。

本年もウィズコロナの一年間となることが避けられず、先生方には十分に健康に留意され活躍されることを祈念いたします。